

○静岡県西伊豆町

西伊豆町E S Dの推進



【E S Dの推進】

平成27年11月に策定した「西伊豆町教育大綱（2015年～2018年）」は、「夢をはぐくみ、ふるさとを語る人づくり」を基本理念に、E S D（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）研究は、環境・経済・社会・文化のあらゆる領域をカバーする学際的研究で、「国連持続可能な開発のための教育の10年（2005～2014）」として、国際的に実践的な研究が積み重ねられてきました。日本においては「立教大学E S D研究所」（以下、研究所）が一つの中心となり、地域住民の学びやエンパワメント（※1）を通じた人づくりによる地域づくりという形で広がりを見せてきています。

しかし、E S Dを通じた地域づくりは個々の先進事例はあるものの理論化・体系化はされておらず、全国への波及展開には至っていません。そこで研究所はE S D先進事例についての持続可

能性指標を用いた評価と、E S D地域創生拠点の形成を試みるアクションリサーチを通じて、新たな視点を加えたE S D研究を発展させるとともに、どの地域でもカスタマイズ可能なE S D地域創生プログラムを提示し、活用を促す事業に取り組んでいます。

本研究プロジェクトの意義は、少子化や過疎高齢化、気候変動や地震・津波などの災害に直面し、課題先進国である日本において、国際的に活躍できるグローバル人材の育成に寄与すると共に「E S D地域創生研究センター」の設置を通して地域におけるE S D推進の基盤を形成することを目指しています。

西伊豆町と研究所とは、2017年11月に覚書を交わし、下記の3点の事業を推進していきます。

- ① 西伊豆町に地域創生拠点を形成し、多くのステークホルダー（※2）とともにE S Dに基づく地域創生の活動を展開します。地域の住民が世代や居住地、職業などの枠を越えてこの活動に参画することにより、地域的かつ国際的に活躍できるグローバル（※3）な視野を獲得し、国内外で活躍する能力を持つことを目指します。
- ② 西伊豆町における地域創生事業を一つのモデルとして、世界に先駆けてE S Dによる地域創生を理論化・体系化し、E S Dによる持続可能な地域づくりの方法論を一般化して提示することを目指します。
- ③ 研究所を軸にして「E S D地域創生研究センター」を設置し、国際的な研究基盤とネットワークを形成することで、学術的研究の成果を西伊豆町の地域創生に活かすことを目指します。

これら3つの事業により、日本のみならず、環境問題等の世界各地の持続可能性に関する課題解決に寄与できることが期待できます。

※1 エンパワメント：よりよい社会を築くために人々が協力し、自分のことは自分の意思で決定しながら生きる力を身につけていこうとする考え方。

※2 ステークホルダー：民間企業、学校や病院、NPOなどの団体、政府や地方自治体など、あらゆる組織の利害関係者をさすことば。

※3 グローカル：グローバル（global）とローカル（local）からの造語。国境を越えた地球規模の視野と、草の根の地域の視点で、さまざまな問題を捉えていこうとする考え方。

【人口減少課題の整理】

人口減少に歯止めがかからない最も大きな要因は、本町に高校、大学が無く、10～20代の若者が進学を機に町外へ転出し、そのまま戻って来ないことが挙げられます。また、中学生、高校生の半数以上が、「不便な田舎が嫌だ。」などの理由で、将来地元に住みたくないと考えており、このままの状況が続くと、人口減少は更に加速することが考えられます。

一方で、新成人者の約75%が「西伊豆町に魅力を感じている。」と回答しており、働く場所の確保や住宅環境、結婚・子育ての支援などを整備することにより、将来地元に戻る可能性もあります。

私たちは、持続可能な地域づくりに取り組む喫緊の課題として、まちづくり団体等が地域の担い手として連携し、町の魅力を掘り起こしながら子どもたちに伝えていくこと、更に、子どもたちの地元を愛する心を育むとともに地域の誇りを回復させ、将来地元で活躍できる人材を増やしていくよう努めていかなければなりません。

併せて企業との連携により、働く場所の確保や魅力ある職場づくり、企業誘致などにも取り組んで行く必要があります。

【これまでのESDの取り組み（一例）】

①企業×まちづくり協議会（安良里地区）

かつて漁業で栄えた地域の復活と、未来の漁業従事者の誕生を願って、地域の子どもたちを対象とした「サンマ船見学会」を開催した。



②高校（松崎高校）×大学（立教大学）

今年度、新たな試みとして、地元高校生と立教大学生との進路相談会を開催した。賀茂地域には大学がなく、地元高校生は大学ではどのように学ぶのか、大学生活はどんな感じかなどを、現役大学生から教えてもらった。



③行政×西伊豆町まちづくり協議会（食部会）

東京都内の飲食店において、「ふるさと」西伊豆町民の会」を開催した。この会は、首都圏において活躍されている本町出身者や、観光等で訪れている西伊豆ファンを対象に募集し、地元食材を使った郷土料理を囲みながら、故郷について語り合おうと企画したもので、本町の郷土料理の研究と後世への引き継ぎをテーマに日々活動している「西伊豆町まちづくり協議会食部会」が主催した。

